

## 平成29年度第2回防府市図書館協議会

日時：平成29年10月18日（水） 午後3時～午後4時30分

場所：防府市役所 1号館3階第1会議室

### ■出席者

（委員）藤村会長、津守委員、河村委員、新田委員、山崎委員、吉武委員、  
土井委員、山田委員（計8名）

（事務局）杉山教育長、原田部長、河田部次長、原田教育総務課長、  
森川図書館長、徳永図書館管理室長

■欠席者 安光副会長、山本委員

■傍聴者 1名

### ■議事録

#### ○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「平成29年度第2回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

本日お集まりの委員の皆様には、大変御多忙中、御出席を賜りましてありがとうございます。

それでは、お手元の会議次第にしたがいまして進めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

開催にあたり、教育長から御挨拶申し上げます。

#### ○教育長

本日は、お忙しい中、防府市図書館協議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、御存知のとおり、今月七日に、本市出身の俳人種田山頭火の記念館「山頭火ふるさと館」が開館いたしました。オープンから3日間で2,500人を超える方が入館し、大変賑わっているようです。それに合わせて市立図書館でも「山頭火ふるさと館開館記念企画展示 山頭火を味わう」と題しまして、山頭火が残した俳句や作品が生まれた背景を、図書館の資料で展示しており、好評をいただいております。これから、文学に対する興味・関心がますます高まること

を期待しているところでございます。

本日の協議では、図書館事業計画について、御協議いただくことになっております。

教育委員会といたしましては、これからも、市立図書館が、生涯学習の中核施設として、十分にその役割を果たし、本市の教育・文化の振興に大きく寄与することができるよう、努めてまいり所存でございますので、御支援の程、よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、図書館協議会開催にあたりましての私の御挨拶といたします。

#### ○事務局

それでは、議事に入ります前に、本日の会議資料等の確認をさせていただきます。

委員の皆様には、事前に資料を配付させていただいておりますが、本日次第の差し替えがありましたので、机の上に置いておいた新しいものを使います。

- 1 防府市図書館協議会（第2回）次第…1枚もの
- 2 平成29年度事業計画書（抜粋）…資料1（A4、両面3枚もの）
- 3 平成29年度図書館事業実施状況…資料2（A4、1枚もの）

会議資料等、お手元でございますでしょうか。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項により、これからの会につきましては、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

#### ○議長

今日は、第2回目の図書館協議会ということになりますが、第1回目は図書館サービス振興基本計画に沿って、昨年度の図書館の運営状況について評価を委員の皆様方に決めていただきました。実際になさってみて、評価をするというのは、なかなか難しいということを実感されたのではないかと思いますけれども、評価のためには他の図書館がどういう状況かを知っておく必要があると思いますので、他館を利用したり見学したりすることも大切になるわけです。

実は昨日、岡山県の瀬戸内市民図書館を見学してきました。岡山から赤穂線で30分くらいのところにあるのですが、岡山県ではこの瀬戸内市民図書館ともう一館、高梁市立図書館が今評判ですが、こちらは岡山から伯備線の特急で30分くらいのところ、備中高梁市にあるのですが、ここへはこの5月に見学に行っております。瀬戸内市民図書館は、公設公営の文字通り市民の図書館として高い評価を得ているわけですが、高梁市立図書館の方は、営利企業のカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）が指定管理者になっている、いわゆるツタヤ図書館でございますが、ブック&カフェなどがあるせいもあるのですが、企業利益が優先され過ぎているという厳しい批判もありますけ

れども、みなさん御承知のように、来年2月3日にお隣の周南市に徳山駅前図書館として、この通称ツタヤ図書館がオープンします。私どもとしても、開館時間とか入館者数とか表面的な評判に、あまりにも振り回されないようにすることが大切ではないかと考えております。

この防府図書館は指定管理でも公益法人の防府市文化振興財団が運営しております。昨年度来いろいろと新たなことにもチャレンジしておられますし、つい先日開催されました図書館まつりでも、市民と図書館と教育委員会とが協働で実施しまして、大変な盛況になりました。これからも市民と共にある図書館として、充実・発展していくことを期待しております。図書館協議会としても、しっかりとチェックするとともに、適切な提言などをしていければと思いますので、御協力をよろしく申し上げます。

今日は今年度2回目ですので、図書館や教育委員会の御説明・御報告を受けて、皆様方からも図書館の運営全般について、いろいろと御意見等もお伺いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、今回の会議につきましても、前回と同様に、会議及び会議記録につきましても、「公開」ということでよろしいでしょうか。(異議なし)

では、異議なしということで、「公開」を進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

では、これより議事に入ります。「図書館事業計画について」、これは中間報告と交えてということかと思いますが、事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

今、会長の方からもお話がありましたように、第1回目の協議会で平成28年度の図書館事業について皆様に評価をしていただきました。それを踏まえて、図書館では日々サービスの向上に努めるとともに、来年度平成30年度の事業に向けて検討を行っているところでございます。

本日は、図書館から現在の運営状況を御説明申し上げて、来年度の計画に向けて皆様から御意見を伺いたいと思います。

資料1と2とお送りしておりますけれども、資料1は、防府市文化振興財団が作成した今年度29年度の事業計画書です。来年の事業計画書も、これに近い形になると思いますので、御参考までにつけております。それから資料2の方は、現在までの図書館の事業の進捗状況を表にしたものです。

まず、平成29年度の事業計画と現在の事業状況を図書館長から御説明申し上げます。

#### ○図書館長

それでは図書館から説明を致します。今日の資料1、資料2を対照しながら、説明をして参ります。

まず、この事業計画書にあります1頁の下の方と2頁、(1) 図書館資料・情報サービス事業についてですが、イの情報提供サービス・調査研究相談業務の中で、昨年度から準備を続けておりました新たなサービスとして、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス閲覧・複写業務を7月5日から開始いたしました。これは、国立国会図書館が持っておりますデジタルコレクション約200万冊の資料を、防府図書館の専用PCで利用者が閲覧・複写できるものでございます。利用者は、防府図書館に利用登録をしている人に限り、国立国会図書館の著作権法等の要件を遵守いたしまして、普段目にするのでできない資料、手に入りにくい資料を、防府図書館の専用PCで提供するものでございます。複写についても、行っております。このサービスは、全国の公立図書館、大学図書館で行っておりますが、加入登録制ですので、全ての大学図書館、公立図書館が行っているわけではありません。山口県内でこのサービスを行っているのは、山口県立図書館、萩図書館（閲覧業務のみ）、山口大学図書館、それと防府図書館ということになります。

それから情報提供サービスの中にも入れておりますパスファインダー（テーマ別の資料案内）ですが、これをホームページに掲載し、内容も随時更新し、利用者の便を図っているところでございます。

次に2頁の下の④移動図書館運行業務ですが、以前から強い要望の出ておりました右田小学校のステーションを、今年度4月から設置しました。昨年度の35ステーションから、今年度は右田小学校をコースに加え、6コース36ステーションで運行をしております。おかげさまで移動図書館については、年々利用者が増加し、貸出冊数・利用者数とも増える傾向にあります。

事業計画書3頁⑤の図書館コンピュータシステム管理業務についてですが、昨年度の12月22日から、新たなコンピュータシステムを導入致しまして、新規のサービスを開始しています。それらの新規サービスまた従来からのサービスも含めまして、この4月にパンフレット「防府市立防府図書館コンピュータシステム読書活動推進サービスの御案内」を発行いたしました。これは、ホームページにも掲載しております。

それから新たなサービスといたしまして、インターネットコーナーの端末機1台に、視覚障害者用の読み上げソフトを導入することを、現在準備中でございます。視覚障害者へのサービスを強化するという観点から、インターネットコーナーを視覚障害のある方も利用できるようにいたします。

事業計画書の3頁の⑥のオですが、今年度は第67集「近松浄瑠璃の本質と総合美的研究」を翻刻する予定で、現在作業中でございます。若月保治という防府の西浦出身の国文学者、翻訳者、俳人、歌人、劇作家等、あらゆる顔を持つ文学者が戦後の昭和26年にガリ版刷りで刊行した「近松浄瑠璃と総合美的研究」

を活字に翻刻する作業でございます。若月保治は、ペンネームを若月紫蘭と言いまして、メーテルリンクの「青い鳥」を、メーテルリンクから直接翻訳権を取得して、日本で初めてきちんとした翻訳をした人でございます。若月紫蘭が訳しました「青い鳥」は、岩波少年文庫等にも入っております、戦前から多くの読者を得ているところでございます。国文学の近世演劇研究の資料として、「近松浄瑠璃と総合美的研究」は非常に優れたものですが、戦後の混乱の中で若月本人が非常に生活に窮している時に自費出版でガリ版刷りで出したものでして、印刷が不明瞭な部分、分かりにくい部分も多々ありますので、きちんとした活字に翻刻するため、現在職員が手分けして作業を行っているところでございます。

それから事業報告書3頁の一番下⑦イですが、「FMわっしょい」には、現在職員が交代で、毎月第2第4木曜日に「防府市からのお知らせ～情報モリモリ」という番組に定期的に出演しておりますが、ビブリオバトルにも、今年度力を入れて取り組んでいるところでございます。このビブリオバトルの広報番組を図書館が提供し、職員が出演いたしております。ビブリオバトルに関しては、年3回開催することにしており、今年度は既に2回実施しましたが、その度毎に、このビブリオバトルの広報番組を「FMわっしょい」で放送しております。また、5月に行いました「こども読書フェスティバル」の広報のために、山口ケーブルビジョンに職員が出演いたしております。

次に、事業計画書の4頁(2)①エaですが、第2次防府市子ども読書活動推進計画に基づき、市の関係各課や小・中・高等学校および関係諸機関と連携をいたしまして、子どもの読書活動に取り組んでおります。その中でも、今年度は学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの活用に力を入れておりました、学校の教科授業に活用できる資料を収集いたしまして、それを市内の小・中学校に貸し出すサービスをしております。今年の2月からスタートいたしました市立図書館と学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用し、資料の共有化を図る事業の一環として行っているものです。現在、このサービスを利用する学校も増えてきまして、各学校の授業等に図書館資料が活用されております。

dのビブリオバトルについては、第1回目は「防府市子ども読書フェスティバル」5/28の中で開催いたしました。第2回目を7/30に開催いたしました。現在、第3回目を11/13に開催する予定で準備しているところでございます。

5頁オの講演会(座談会)は、5/28の「防府市子ども読書フェスティバル」の中で、那須正幹氏、田頭よしたか氏等4人による座談会『絵本「塩田の運動会」ができるまで』を開催いたしております。「塩田の運動会」は、防府市の中関を舞台にしており、中関出身の田頭よしたか氏が発案し、それを那須正幹氏

が文章にまとめ、青山学院大学教授の落合功氏が塩田の歴史について監修し、福音館編集長の松本徹氏が上梓に至るまで、さまざまな準備をして出来上がったものでございます。今回、この田頭・那須・落合・松本の4氏による座談会を開催いたしました。大変好評でございました。

それから事業計画書5頁②アも関連しており、ボランティアとの共催の行事ということで、防府市子ども読書フェスティバルを実行委員会、ボランティア団体との協働により開催しております。防府市教育委員会、公益財団法人防府市文化振興財団、そして実行委員会との共催でございます。多くの方の参加を得まして、大変盛況のうちに終わることができました。

事業計画書の最後の6頁ですが、図書館はこれらのさまざまなサークル活動を奨励・支援するということで、その機会・場・設備を提供しておりますが、各サークルから図書館に対して、職員も一緒に事業を行ってほしい、協働で事業を行いたいという要望もあり、その中で毎月2回開催しておりますボランティア団体、おはなしでんしゃの皆さんのおはなし会、絵本の読み聞かせ等の時間において、図書館職員による絵本のブックトークを実施いたしております。昨年度、おはなしでんしゃから、図書館に対しておはなし会の時間内にブックトークをしてほしいという要請がありまして、図書館の方でも職員のスキルアップ、ボランティアの支援ということも含めて、双方の考えが一致して、現在、毎回、図書館職員によるブックトークをいたしております。

それから防府図書館利用者サークル連絡協議会の講演会が4/27に行われました。種田山頭火に係る講演会でしたが、この講演会において、利用者サークル連絡会から、図書館職員に種田山頭火の本のブックトークをしてほしいという要請があり、それを受けて、職員がこの講演に先立ち、図書館が所蔵しております種田山頭火関連資料のブックトーク（資料の紹介）を行っております。

そして、学校図書ボランティアネット・防府の皆さんが、毎学期1回勉強会・研修会を開いていらっしゃいますが、その中で図書館職員による新刊児童図書のブックトークを実施してほしいという要請があり、これを受けて、今年度第1回目のボランティアネット・防府の研修会6/15に、図書館職員が新刊児童図書のブックトークを実施しております。これらボランティアの皆さんの、さまざまな要望・要請にお答えする形で、職員によるブックトークを実施しております。

防府市母親クラブ連絡協議会が、防府市出身の絵本作家田頭よしたか氏の原画展「絵本作家田頭よしたかのおもちゃ箱展」に合わせて8/5に開催しました講演会「絵本のおじさんとあそぼう」及び子ども工作教室に、図書館の職員が協力参加をしております。こちらについても、母親クラブの方から、図書館と一緒にやりたいという声をかけていただきまして、それに応える形で、職員が

講演会及び工作教室に参加いたしております。

それから、韓国の春川市立図書館と資料交換協定を結んでおりますが、これに基づき同館より毎年 100 冊程度の資料が防府図書館に寄贈されております。防府図書館からも春川市立図書館に毎年 100 冊程度の資料を寄贈いたしております。この春川市立図書館から防府図書館に寄贈された図書及びそれに添付されている文書の翻訳作業を、ボランティアの皆さんと協働して実施しております。韓国語に堪能なボランティアの方の協力を得まして、これらの作業を行っております。

また、先般 9/8 から 9/10 まで、春川市に新しい図書館が開館いたしました。春川市の子どもおもちゃ図書館の開館式に職員 2 名が出席し、これに伴う研修・視察を行いました。この研修・視察には、防府図書館の他、鳥取県立図書館、そして中国の大連図書館からも職員が出席しております。

そして、6 頁③ですが、本財団内での連携事業ということで、アスピラートの文化事業、ソラールの科学事業との連携を行っています。まずアスピラートでは、先ほどお話ししました 7 月から 8 月に開催された田頭よしたか氏の原画展に合わせまして、田頭氏の著作物の展示やブックトーク、ギャラリートーク、そしてボランティアの皆様による絵本の読み聞かせなどを実施いたしております。また、ソラールで開催されました企画展「昆虫わくわく探検館」に合わせまして、ミニ資料展示「昆虫の世界」を図書館で 4 月 19 日から 6 月 5 日まで開催いたしました。これに伴い、ミニブック（資料紹介リーフレット）も作成・発行いたしまして、図書館及びソラールで配布しております。

今年度の事業計画に基づく事業実施状況を以上のとおり報告いたします。

○議長

ただ今の図書館の御説明・御報告に対しまして、何か御意見・御質問がございましたら、お願いします。

○委員

事業状況は良く分かったのですが、状況というからには、少し数字が欲しかったというのが感想です。国立国会図書館のデジタル化資料の利用がどれくらいあったかとか、パスファインダーの種類もどれくらい増えたとか、数字を入れていただきたかったと思います。これは、次回に期待したいと思います。

あと、パスファインダーについてですが、図書館の紹介があまりにも簡素すぎて味気ないと思っています。書名・著者・出版社・請求番号のみなので、そこに一言何かあったらよいのではないかと思いますので、出せばいいではなく、いいものを出すようにしてはいかがでしょうかと思います。

○館長

御指摘にありました数値統計については、次回の図書館協議会の中で数字的なものを出したいと思います。あと、パスファインダーについても、内容説明を、少しずつ加えていくように改善していきたいと思います。

○議長

他にはありませんでしょうか。

○委員

今回のこの事業計画書というのは、先ほどの御説明の中では、市の振興財団が作成されたということだったですね。私たちが前回1回目の会議で検討したのは、防府市図書館サービス振興基本計画に基づき昨年度の評価をし、そして30年度の事業計画を検討したと思うのですが、それと今回のものとがどういう関係性なのかがつかめないのので教えていただきたいと思います。

○館長

今回出しております、平成29年度事業計画書は、公益財団法人防府市文化振興財団の2月の理事会に出した事業計画でございます。基本的には、先ほど言われました防府市図書館サービス振興基本計画に基づいて作っているものでございます。資料1の事業計画書の基本方針のところにも書いておりますけれども、中略のあと、図書館事業については図書館法の趣旨に沿って適正な管理運営を行い、防府市図書館サービス振興基本計画や第2次防府市子ども読書活動推進計画に基づき、教育及び文化の情報拠点として…（中略）と書いております。ですから基本的には、防府市図書館サービス振興基本計画や第2次防府市子ども読書活動推進計画を踏まえて作った事業計画書ということになります。前回の第1回目の図書館協議会の時に出了した計画については、防府市図書館サービス振興基本計画の項目に従って出したものになっております。基本的には同じなのですが、形式が違うという風に理解していただけたらと思います。防府市図書館サービス振興基本計画や第2次防府市子ども読書活動推進計画に基づいて、大きな柱を2つ設けて作ったものです。今回提示しております防府市文化振興財団の事業計画書というのは、基本的には指定管理の協定書の内容、定めに沿って作られたものでございます。協定書の中には、さまざまな書類がありまして、その中に業務の基本となる基準書というものを作っているのですが、協定書の一連の書類である基準書の項目を踏まえて、事業計画書が作られております。基準書は非常に詳しいものなので、全部をあげることはできないのですが、主要なサービスに係るものを、この事業計画書にあげております。

○委員

図書館事業・情報サービス事業ともう1つ、集会・文化活動推進事業の大きな2つの柱を設けられて、この計画書を立てられたということですね。わかりました。ちょっと見慣れないものでしたので、どこから来たのかなと思いますし



た。でも、実施状況はこれに基づいて説明していただきましたので、良く分かりました。

あと、学校オンラインネットワークシステムの活用という件ですが、(2) 集会・文化活動推進事業の a のところ、実際に 2 月にスタートして、どの程度の活用が学校でなされてきているのか、具体的な状況について分かる範囲で教えていただきたいと思います。

○館長

本格的にスタートしたのは今年度に入ってからですが、今年度まず周知活動としまして、どういう資料があつて、どういう貸出のサービスをしますということをご各学校に説明いたしました。次第に利用が増えております。ただまとめて各学校に貸出すものですから、それも授業の単元に合せて貸出すということで、一応予約を取る形で、その貸出の時期を決めまして一定期間貸出をするという方法を取っております。どこまでも授業単元に合わせるという貸出の仕組みなのですけれども、10 月のはじめの段階で、予約状況としては、5 校から 7 件の予約が付いておりました。だいたい今、そういうペースで進んでおります。

○議長

この学校図書館とのオンラインネットワーク、それから学校支援図書ということも始めておられますけれども、その関連で御質問はございませんか。

○館長

よろしいですか。学校図書館の学校支援貸出図書状況については、今、少しずつ進んでおりますので、次回の図書館協議会では、何校からどれくらいの利用があつたか貸出冊数を含めてですが、貸出期間等も参照できるような形で数値にして、報告をしたいと思います。

○委員

学校関係については、5 校から 7 件だということでしたが、学校では教科の進路がほぼ同じということから、重なって困られたというようなことはないですか。そしてこれから先、利用頻度が多くなって、どの学校からもたくさん依頼があつて困られるというようなことは予想されないでしょうか。

○館長

はい。その件に関しましては、全国的にどこの図書館でも共通の悩みを抱えております。学校の教科授業で使う資料については、学校図書館の資料費でも実際に購入をしています。ですから、全てを市立図書館で対応するというのではなくて、学校図書館と市立図書館とのオンライン・ネットワークシステムを使って、自分のところで対応できない資料について、どこの小学校・中学校が持っているということが、このオンライン・ネットワークシステムでわかるわけですから、市立図書館オンリーで対応していくということではなく、

学校同士が連携をしながらお互いに資料の相互貸借をするというシステムを取っています。それでも足りないものについては、順次、市立図書館でも補充をしていきたいと思っておりますし、学校図書館でも同じ様にされると考えております。市立図書館の学校図書館支援図書予算と各学校図書館が持っている予算を有効活用しながら、1校だけで対応するのではなく、それぞれの図書館が資料を融通しあう、市立図書館も融通するという中で相互貸借のシステムを整備して、教科での活用につなげていきたいという風に思っております。

○委員

良く分かりました。各学校がしっかり利用するといいなと思えました。

○議長

学校間の貸借の過程で、図書館管理室が調整するといったことは、どうなんですかね。

○事務局

学校司書がその時に必要な資料について、学校同士で調整したりということはありませんけれども、学校支援図書は図書館に登録されているものですので、貸出状況を管理室の方では把握できませんから、それは図書館の方で各学校から貸出の申込を受けて、貸出期間とか時期を調整するという形で運営しています。利用が重なるようなものは、今後内容を充実させて、全く同じものではなくても2セット、同じ様な単元に使えるセットを増やしたりとか、そういう形で対応できるものがあれば、こちらからこういう資料を追加して欲しいとか、学校司書から意見や要望を吸い上げて反映させていきたいと思っております。

○議長

図書館管理室が学校間の貸借に対して調整する機会も、今後出てくるかと思いますので、検討事項として研究していただければと思います。

○事務局

学校間の相互貸借については、どの程度の蔵書がどこにあるのかということ把握して、どういう風に動かせばうまく活用できるのか図書館管理室の方でも考えていきたいと思えます。

○議長

それでは、他にないようですが、第1回目の時に評価をする過程で、皆さんからいろいろな意見が出されたことに対して、評価を含めてそれに対応する形で何らかの対処・対応をしたということが特にあれば、主なものだけでよいので図書館から御説明をお願いします。

○館長

要望といいますか、それぞれ指摘のあった点に対して改善点が見られるかということによいでしょうか。

○議長

特に改善点があればということでよいです。

○館長

前回の意見の中で、3番の生涯学習活動の拠点として集会・文化活動に力を入れ地域の力を高める図書館ということに関して、館内の展示やその周知には更なる工夫が必要と思われるため、利用者やボランティアの意見を聞いて改善に努めてほしい、また平成28年度から開催された図書館ボランティア連絡会議により、サークル活動を進める上での要望や意見を把握し、図書館運営に活かしてほしいという協議会からの意見が出ておりますが、ボランティアの皆さんのさまざまな意見を図書館運営に反映していくために、11月に学校図書ボランティアネット・防府のみなさんと協議する予定にしております。図書館サポーターという形でのボランティアの方の希望も出ていますので、11月16日の午後、学校図書ボランティアの皆さんの研修会後に、図書館サポーターの手法等について、あるいは図書館に対してどういう内容のボランティア活動ができるのかということも協議したいと思っております。館内の飾りつけ・展示、その他の協議を予定しております。それから、図書館ボランティアの連絡会議、利用者懇談会等については、今年度も開催して皆さんの建設的な意見を伺って、それを業務に反映していきたいと思っております。

それから、さまざまな教育文化施設とのネットワークを含めサービスする図書館という項目についての協議会の意見として、学校図書館とのネットワークが構築されたのは大きな前進であるが、今後は市立図書館と学校図書館等との連携や流通システムなど、その運用の充実を望むということが出ておりますが、これは市立図書館と図書館管理室との協議、そして学校司書との協議をしまして、円滑な運用に現在取り組んでいるところでございます。その成果が少しずつ出ているという風に思っております。

それから文化振興財団内部の連携による事業展開に期待したい、また国立国会図書館や県立図書館との連携によるサービスに努めてほしいとありますが、財団会議・連携部会を作りまして、連携会議を毎月定期的に行きまして、財団内の事業における連携もさまざまな形で、実際に行っております。国立国会図書館や県立図書館等、他の図書館との連携も進めております。国立国会図書館については、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの閲覧・複写業務を開始して、それらに努めております。

次に、子どもたちの読書活動を進めていく図書館ということについての図書館協議会からの意見ですが、図書館が子どもたちにとって身近な存在であるようさまざまな機会を通じて浸透させていくことが重要であるため、図書館職員が児童向けに図書館をPRするなどの取り組みを望むということでしたが、これ

は子ども向けの展示・ミニブックを作成して、順次その活動強化に努めております。

また、新たな試みとしてのビブリオバトルは有効だが、今後は実施方法等の検討が必要であり、また児童コーナーのディスプレイにはボランティア等への支援要請も検討にすべきと思われるという意見に対してですが、ビブリオバトルについては、試行錯誤の途中でして、今回第3回目のビブリオバトルは学校司書の方にも参加をいただく予定で、今連携をしておりますFMわっしょいの方にも参加を要請しております。発表者はこれまで図書館職員を中心としたものでしたが、それ以外にも幅を広げていくようにして、更に内容が充実していくように努めております。そして児童コーナーのディスプレイに関しては、先ほども申し上げましたが、学校図書ボランティアネットの皆さんと、そのあり方について協議する予定にしております。

7番目の障害者や高齢者にやさしい図書館ということに関する図書館協議会の意見としてありました高齢者・障害者のニーズを調査し、利用しやすいサービスや支援体制を整えて欲しい、更に障害者サービスに係る周知についても取組んでほしい、また障害のある利用者のためのボランティア講座の開催も期待するということが出ておりますけれども、先ほども申しましたが視覚障害のある方がインターネットコーナーを利用できるように、現在準備を進めているところでございます。それから先般、高齢者に対するサービスについて、認知症サポーターの取組みに関しましても、今後図書館が取組んでいかななくてはならないということで、研修をしながらその内容について考えているところでございます。

図書館協議会から出されました意見に対する取組みで、今現在の取組みについては以上でございます。

○議長

いろいろと取組んでおられることが良くお分かりになったかと思えます。他になければ。

○委員

先ほど他の委員さんから出た意見と重なるのですが、今のサービス振興基本計画は7つの視点から成り立っているわけですが、いただいた資料では大きく2つの図書館サービス事業、それから集会・文化活動事業ですが、中味は7つの観点が出ていのでしょうか。資料をお送りいただいたときに、良く分からなかったのですが、この事業計画は、前回7/7第1回の図書館協議会の資料3ですよね。これは29年度の事業計画、それとの関連・関連が見えにくいのですが、先ほど御説明がありました29年度の事業計画で、事業実施状況というのが28年度もあっているいろんな評価をしましたが、現時点で2回目を開くのだ

ったら、その内容の進捗状況ですよね。1回目に示された計画、事業計画も出て  
いるわけです。7つの観点で意見を述べていますから、7つの観点で事業の進捗  
状況を述べていただかなければと思います。でなければ、分かりにくいなあと  
思うのですが。言っておられることは重なっているのでしょうけど、資料1と  
どう関連しているのか整理がしにくいし流れとして分かりにくいと思います。

○事務局

今おっしゃられたように、今日お渡しした29年度のものは、財団の内部で策  
定されたものです。ただ、本来は第1回目から協議をしていただいたものが、  
図書館サービス振興基本計画に基づいたそれぞれの項目についての事業内容の  
整理ということになります。今度この30年度については、図書館の方で同じ様  
に策定されるとずれが生じますので、今後は整合が取れるような形で、計画自  
体を調整させてもらえたらと思います。内容的には、ほぼ重なっているのです  
けれども、見せ方がだいぶ違っておきますので、先ほどの指定管理の協定書  
の中にあるような提出するもののひとつではあるのですが、関連性が分かりやす  
いような形で、30年度のものは今から作成になりますので、これから整理させ  
ていただきたいと思います。

○議長

図書館の事業計画書抜粋は、財団の理事会に提出されたものですよね。それ  
に基づいて、今日資料2で主な二つの項目について説明されたので、この前の  
第1回目の時とどう関連するのかということ、それに対する何らかの対処を  
しているかということ、私の方も質問させていただいたのですが、もう少し  
分かりやすい形で、この協議会に出していただければと思いますので、よろし  
くお願いします。

それでは、事務局からお願いします。

○事務局

今回の資料の説明が不十分で、委員の皆様には分かりにくかったかと思いま  
す。申し訳ございませんでした。

図書館を運営しております防府市文化振興財団では、先ほど館長も申しまし  
たけれども、2月頃に理事会・評議員会などを開催しまして、次年度の事業計画  
及び予算の審議が行われます。そのために図書館でも来年度の事業なり計画な  
りを検討しているところでございますけれども、今の進捗状況または評価に対  
する対応の状況などもお聞きになった上で、来年度の事業について、御意見や  
御要望がございましたらお聞かせいただきまして、次年度の計画の参考にさせ  
ていただきたいと思っておりますので、御自由に御意見をお聞かせいただき  
たいと思います。

○議長

それでは、来年度の事業計画にも活かせる、また参考にしていただくということで、図書館の運営全般について何か御意見、お尋ねになりたいことがございましたら、各委員さんからそれぞれ出していただければと思います。

#### ○委員

30年度の要望ということなんですけれども、28年度の委員評価の中に子ども読書フェスティバルに主役の子どもたちが少ないということが反省で出ております。次年度も5月に子ども読書フェスティバルをやるのですが、だいたい今まで幼児とか小さなお子さんが多かったと思うのですが、できれば小学校の子どもたちを集められないかなと考えております。ビブリオバトルを小学生でやりたいという話が出ておりましたが、この読書フェスティバルに合わせて、今から小学生たちを集めて、こういう風にしたらどうかなという事をこの前から考えております。小さいお子さん向けのおはなし会と小学生の子どもたち向けのことも、2階建てでも時間配分でできるのではないかと、していただきたいなと思っております。やはり小学生にたくさん本を読んでいただきたいということを、前々からここでお話しているのも、その方向性で行っていただきたいなと思っております。

#### ○議長

図書館から何かあれば、お願いします。

子ども読書フェスティバルへの子どもの参加は、前から言われていますが、子ども読書推進連絡協議会でも前から意見が出ておりますが、これについて何か対応がありましたら。

#### ○館長

子ども読書フェスティバルに子どもの参加が少ないという現状は、大きな課題なんですけれども、来年度のフェスティバルでは、子どもができるだけたくさん参加できるような企画を考えていきたいと思っています。これまでも、子どもが発表する機会が設けられたときは、子どもの参加が多かったのですが、それがなくなかなか子どもの参加が見られないので、子どもが発表する機会になるような企画をしていきたいと思っています。

#### ○教育長

学校教育課や学校の子どもの都合もありますので、そういったところを整えてやらないと、いいことなのでその辺りを考慮して対応しながら進めなくてはならないと思います。

#### ○委員

あまり良く分からないままこういう場に出さしていただいて、皆様の御意見を聞きながらもっともだとか、こういう考え方もあるのだなと思いつつ、勉強になっております。いろいろな意見を聞いて、いろいろなところで伝えてい

きたいと思います。

○委員

指定管理（財団管理）になってから、職員の方、カウンターの中とか、事務室の中の見えないところで仕事をしていらっしゃる方たちの意識というか、スキルアップができてきたと感じられますか。

○館長

財団の指定管理になりましてから、研修活動に力を入れておりまして、県内のさまざまな研修活動には積極的に参加しておりますし、また県外で行われる研修活動にも参加をしております。防府図書館内での独自の研修もしております。研修に関しては、これまで以上に力をいれておりまして、それが職員のスキルアップにつながっていると感じております。研修については統計も取り、今後も増やしていきたいと思っております。

○委員

私も、昨年当初よりは取り組みというのが、目に見えて良くなっているというのを感じています。利用者としても利用しやすくなっているし、いいなと思っています。

○館長

ありがとうございます。

○委員

私は、おはなしでんしゃに所属しておりますが、図書館職員の方が上手にブックトークをされまして、子どもたちが大変ひきつけられています。親も図書に関して関心を深めていて、いい活動だと思っています。こういう形で実施状況をお聞かせいただきながら、本当に図書館が前進しているなど、前向きな活動をしておられるなど非常に嬉しく思っているところです。

あと、オンライン・ネットワークについては、たくさん予算をかけているところですので、少しずつ学校と連携を取りながら、子どもたちの主体的な学び、図書あるいは図書の貸出の流通システムを構築する中で、たくさんの本に触れていけるような形に、更に前進ができると思いなと思いました。

○委員

御説明いただいて、本当にすごいなというのが率直な感想です。いろいろな取り組み、例えば国立国会図書館とのデジタル化の資料送信サービスでも県内では、4館しかないわけですね。その様な先進的な取り組みが随所にありますので、私は素晴らしいなと思ってお聞きしております。また学校としては、図書データのデジタル化をし、オンライン・ネットワーク化もしていただきましたので、小学校の方はかなり活動が進んでいるとお聞きしましたが、中学校では図書館部員の研修の時にも、まだまだだと聞いておりますので、これから少し

ずつ進めていかななくてはいけないと思っております。

#### ○委員

青少年育成市民会議のお世話をしておりますが、今、大きな課題の一つとして家庭の在り方をあげております。市民会議では、関係機関・団体と連携し、月1回「家庭の日」を設けて家族と一緒に過ごし、家族の絆を深めようという運動に取り組んでおります。防府図書館では、新たな組織で運営を始め、諸事業を展開され多くの成果をあげておられます。中でも、親子で活動する取り組みを日曜日に開催しておられますが、その際「家庭の日」という言葉を前面に出して読書活動等を展開していただくと、保護者の意識啓発を図る機会にもなるのではないかと思います。青少年育成市民会議も応援しています。

#### ○委員

まず、図書館サポーターの件について、前回言って、図書館が前向きに考えていただいているようですので、言ったからには、全面的に協力していこうと考えておりますので、よろしく願います。

それと、子ども読書フェスティバルの件ですが、チラシが子どもたち一人ひとりに渡っていないので、その辺り、予算確保からお願いできたらなと思っております。

#### ○議長

第1回目の時に、いろいろなサービスをされているので、新たにサービスをされるのは大変かなということは申し上げたのですが、これから御承知のように超高齢少子社会になっていくので、少なくなっている子どもたちへの児童サービスももちろん大変大切なのですが、増えていく超高齢者に対応するために高齢者サービスをこれから充実させていかなければならないと思っております。先ほどの説明で、高齢者サービス研修への出席もされたということでしたが、昨日訪問しました瀬戸内市民図書館でも職員の方々が、認知症サポーター養成講座に出られて、図書館として他の福祉施設、地域包括ケアセンター等とも連携しながら認知症カフェを始めるといわれていましたが、それにかからめて図書館自体が認知症の対応をするのが難しいので、認知症の関連の本を集めてコーナーを作ったりですとか、認知症関係の講座がある時に、その関連の図書リストを作ったりですとか、そういった形で他の事について積極的になさっていました。そういった高齢者向けのいろいろなサービスを、今後充実させていただければと思います。そして、他の図書館で高齢者が集まられて、音読会なんかをなさっているところがあって、それが脳の活性化にも役立っているということですし、これはまた瀬戸内市民図書館でもされていましたが、山口市の秋穂図書館でもなさっているということですが、いろいろな古い写真とか器具とかを集めて、高齢者の方がそれをもとに話し合いをするという認知症予防の回想



法をされているのですが、そういった取り組みもありますので、いろいろ検討されてできる範囲で検討していただければと思います。

もう1つ昨日行ったところですが、それは図書館内にいろんな行事とか新刊本を案内する、ディスプレイするところがありまして、それをタッチパネル式に動かして表示できるようになっているのですが、行事はもちろんですが、行事はやっているところが多いと思いますが、新刊受け入れ図書について、それについて背表紙を並べて写したものを表示されるようにして、これは新刊図書リストで打ち出しているところもありますが、それだとなかなか見られることも少ないかと思います。それから新刊図書案内がホームページに出ている人も限られてきますので、館内、特に玄関にそういったディスプレイ（タッチパネル式でスライドさせていくものの）装置を置いておられて、お金もかかると思いますが、その辺りなんかなければ新刊案内が使えるのではないかと思います。来年度の検討課題でお願いできればと思います。

他に何かありましたら、よいですか。

それでは、本日は長時間ありがとうございました。第2回目の会議でしたけれども、今年度の途中事業についてと来年度の事業計画に向けて、委員の皆様から御意見・御提案をいただきました。今後とも、委員の皆様の御意見をいただきながら、図書館事業が充実したものになるように協議を進めたいと思います。山頭火ふるさと館の開館のことが出ましたけれども、山頭火の名句で「分け入っても分け入っても青い山」というのがありますけれども、「分け入っても分け入っても本の山」になるように充実した図書館というのを目指して頑張っていたいただければと思います。よろしく願いいたします。

○事務局

本日は、長時間にわたりありがとうございました。

今回は、財団の方で来年度の事業計画がほぼ固まると考えられます2月下旬に、開催を考えております。その時点で、来年度の事業について、図書館からも報告ができると思いますので、御案内いたします。よろしく願いいたします。

○部長

本日は、長時間にわたりまして、熱心な御協議をいただきまして誠にありがとうございました。皆様御存知のとおり、この協議会は昨年度立ち上げまして、今年度は点検・評価をいただきました。この評価結果と本日いただきましたご意見を次年度の図書館の事業計画に反映させてまいりたいと考えております。図書館サービスのなお一層の充実に向け努めてまいりたいと思っておりますので、引き続き委員の皆様には、御支援・御協力の程、よろしく願い申し上げます。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。

○事務局

それでは、これで平成 29 年度第 2 回図書館協議会を終了いたします。  
皆様、気をつけてお帰りください。ありがとうございました。